

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(70歳代及び80歳代男性)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は29例となりました。
- ・ アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)ありました。症状は下痢, 発熱, 肝膿瘍です。本年の累積報告数は11例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(50歳代女性)ありました。感染経路は手術部位感染です。本年の累積報告数は37例となりました。
- ・ 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)の報告が1例(10歳代男性)ありました。症状は左下肢の弛緩性麻痺です。本年初めての報告です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(50歳代女性)(第46週追加報告分)ありました。感染地域は国内です。本年の累積報告数は65例となりました。
- ・ 梅毒の報告が2例(20歳代及び40歳代男性)(いずれも第46週追加報告分)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は61例となりました。
- ・ 百日咳の報告が7例(10歳未満男性2例及び女性1例, 10歳代男性2例, 90歳代男性及び女性各1例)(第46週追加報告分含む)ありました。感染地域は全て国内でした。本年の累積報告数は104例となりました。
- ・ 水痘の定点当たり報告数が0.93(40例)となり、今年最も多く報告されました。全国及び本市の過去5年平均値において、この時期は増加傾向が見られることから、今後の発生動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の0.55(32例)から0.97(67例)と増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 5例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 294例(肺結核 129例, その他結核70例, 潜在性結核感染者 95例)うち喀痰塗抹陽性 62例】
- ・ 四類:レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 29例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 11例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 37例】
- ・ 五類:急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 65例】
- ・ 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 61例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 104例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 97	67
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2. 91	125
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 58	68
	③ 水痘	0. 93	40
	④ 咽頭結膜熱	0. 42	18
	⑤ 伝染性紅斑	0. 40	17
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

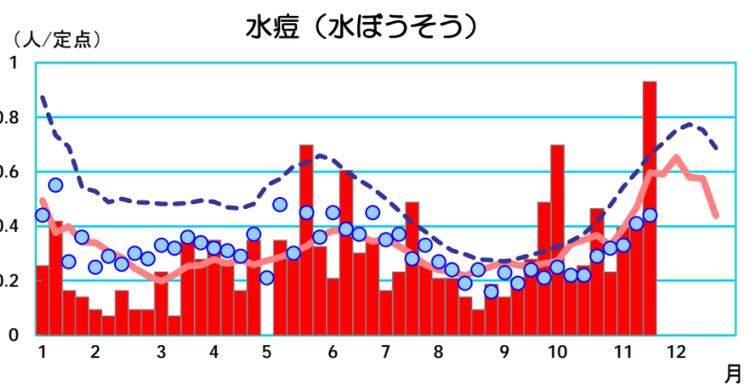
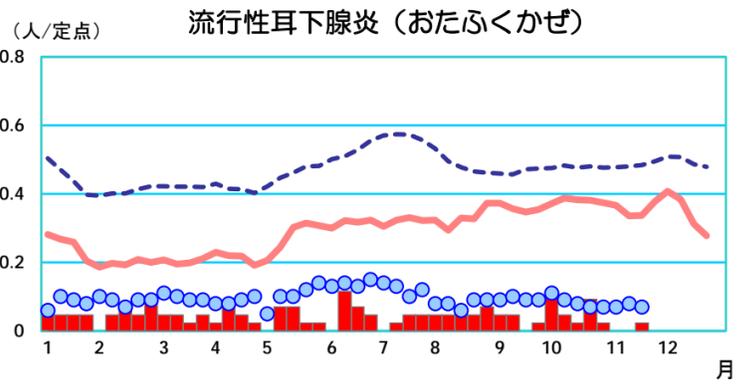
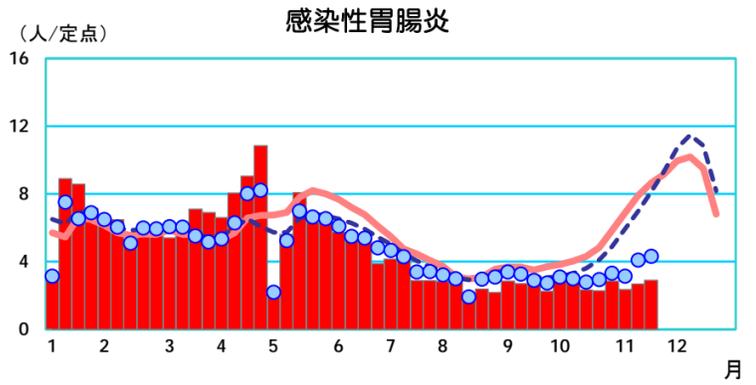
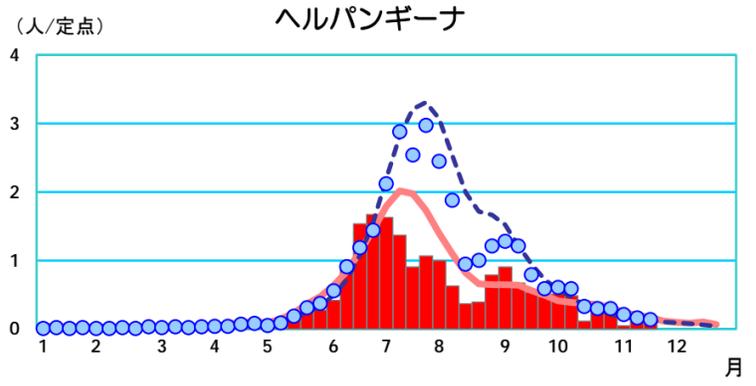
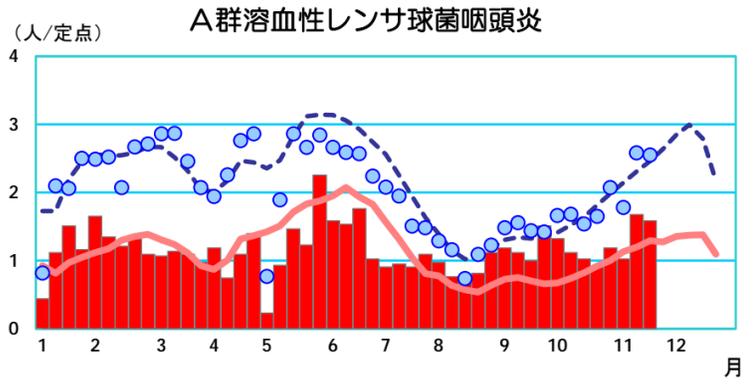
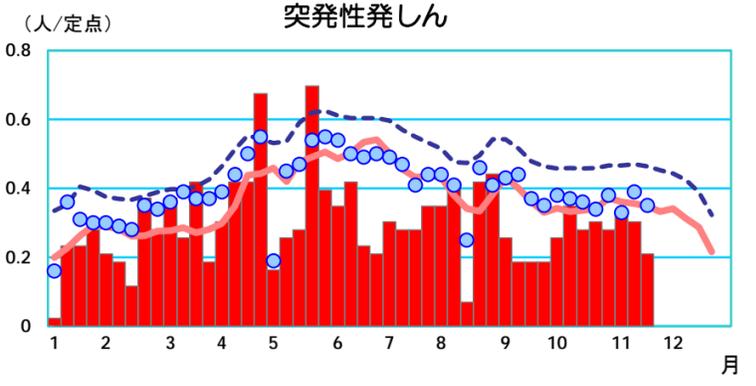
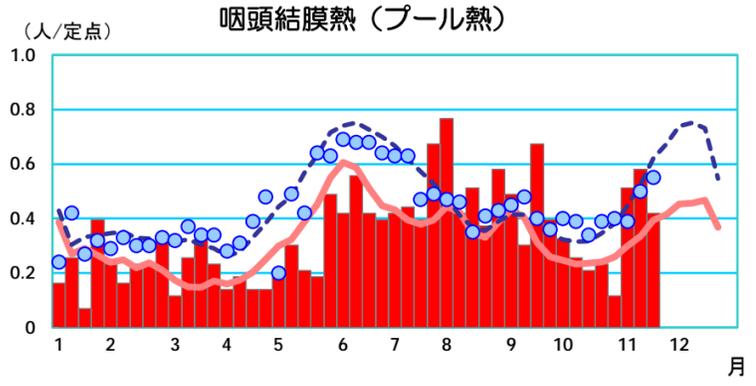
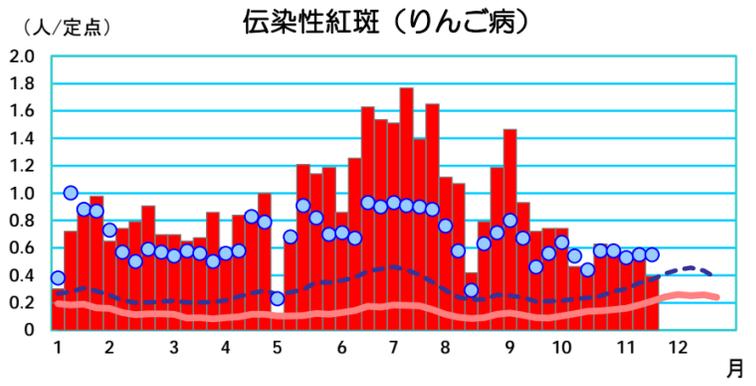
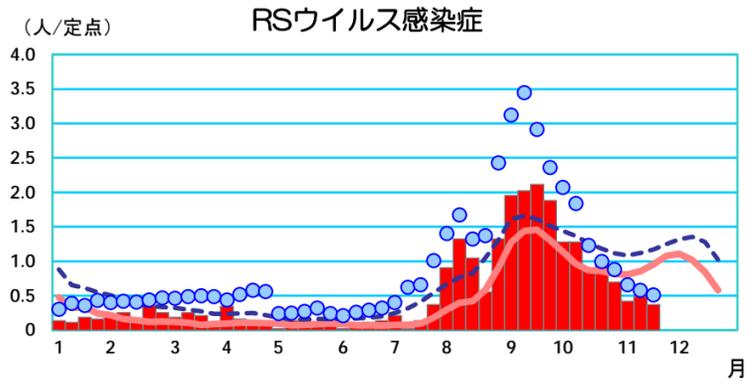
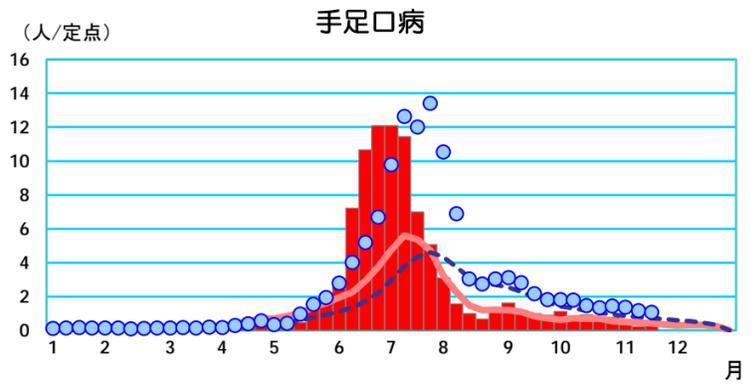
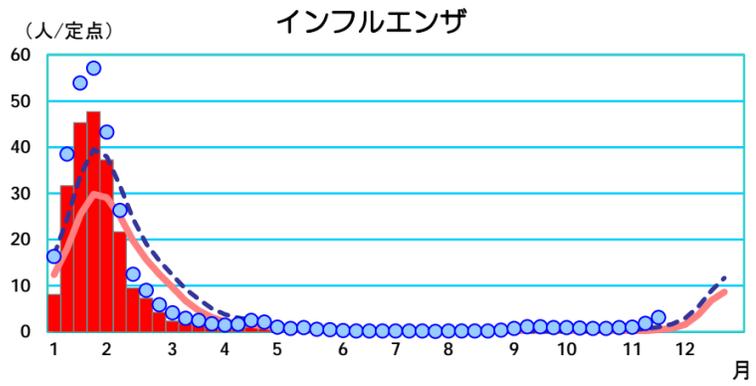
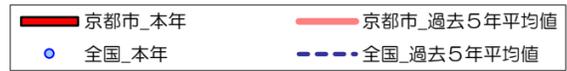
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年11月27日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第47週(11月18日～11月24日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の0.55(32例)から0.97(67例)と増加しました。全国は、前週の1.84から増加して3.11となりました(図1)。

都道府県別では、注意報レベルを超えた北海道(10.12)をはじめ、近畿6府県を含め41の都道府県で1を超えて流行入りしています。流行入りしている都道府県の数は、第45週に17、第46週に31、第47週(今週)41となっており、ほぼ全国に流行が広がってきています(図2)。

厚生労働省「今冬のインフルエンザ総合対策」の感染予防の3本柱は、①咳エチケット、②予防接種および③高齢者の入所施設等における感染防止対策の推進です。

①咳エチケットとは、咳やくしゃみの飛沫により他人へ伝染するインフルエンザ等の感染症を防止するために、個人が咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。特に電車や職場、学校など人が集まるところで実践することが重要です。

②予防接種は発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、13歳以上の方は1回接種で十分の効果が見込まれます。

③高齢者の入所施設等における感染防止対策は、施設内にインフルエンザウイルスが持ち込まれないようにすることが重要です。

高齢者の入所施設と同様に、長時間にわたり集団で生活する学校等でのインフルエンザ様疾患発生報告による学級閉鎖施設数と、本市定点当たり報告数の推移を比較すると、図3に示すようによくリンクしています。インフルエンザ流行時には、高危険群に属する方が多く入所・入居している高齢者の入所施設等は、入所者に①②を徹底の上、新たな入所者や面会者からのウイルスの持込に注意し、施設内でのインフルエンザ患者が発生した場合はできるかぎり部屋を分けるなど特段の注意が必要です。

インフルエンザの年齢別・行政区別・他都道府県の状況等の発生状況については、下記URLを御参照ください。

○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

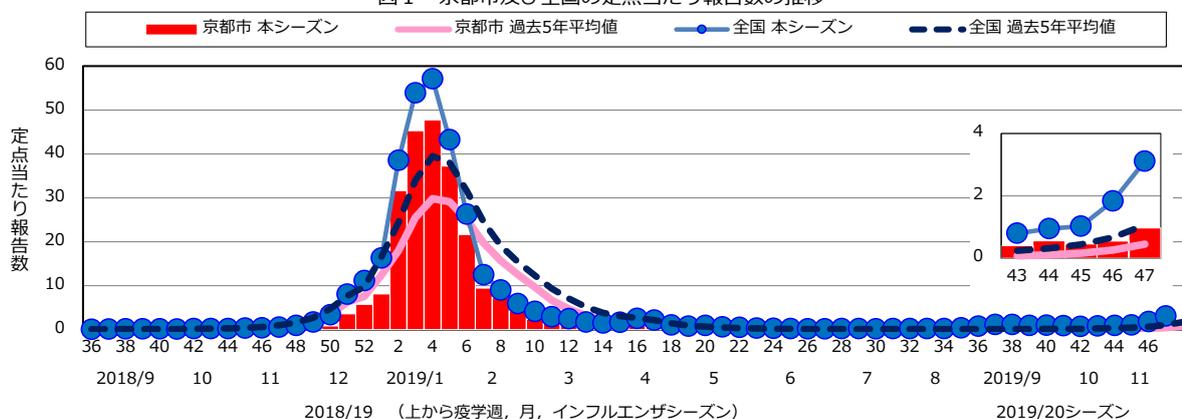


図2 都道府県別定点当たり報告数の推移

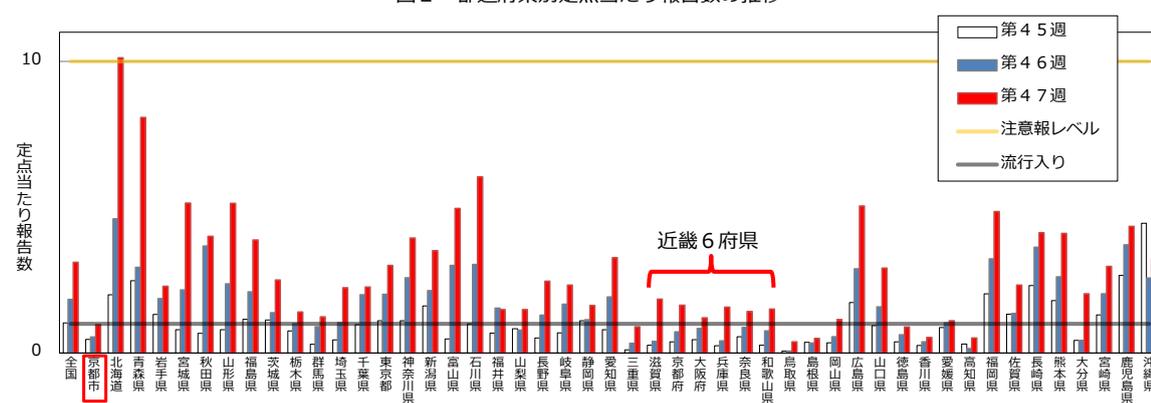
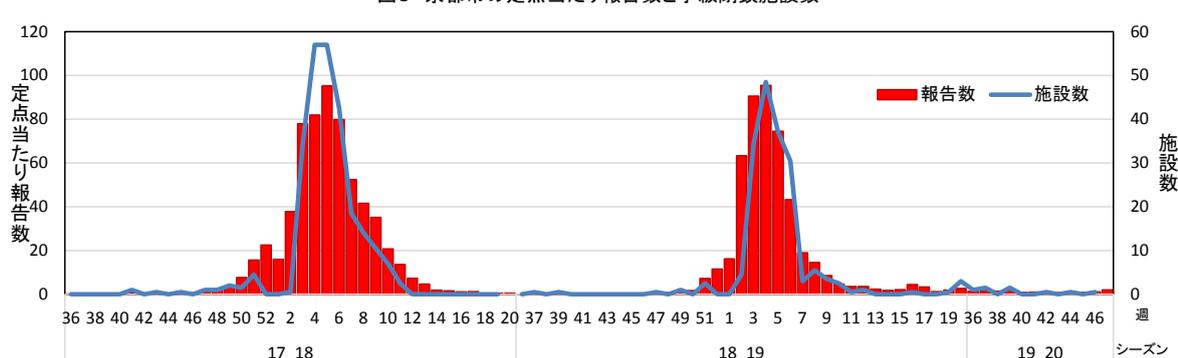


図3 京都市の定点当たり報告数と学級閉鎖施設数



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第47週

疾病,行政区別報告数

2019年11月18日～2019年11月24日

データ入手日:2019年11月27日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	4	1	1	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-						
上京	4	-	4	1	2	6	-	-	-	1	-	-	-						
左京	2	-	2	17	11	16	2	2	1	-	-	-	-						
中京	8	2	-	3	12	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	5	1	-	-	10	-	-	-	1	1	-	-	-						
山科	21	1	-	13	2	3	2	1	4	-	-	-	-						
下京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	7	-	-	-	9	2	-	5	-	1	-	-	-						
右京	9	9	8	16	21	2	6	5	2	-	-	-	1						
伏見	4	2	2	9	47	9	-	2	1	-	-	-	-						
西京	2	-	1	8	11	-	2	1	-	-	1	-	-						
京都市計	67	16	18	68	125	40	13	17	9	6	1	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.57	0.25	0.25	0.25	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-						
上京	0.80	-	1.33	0.33	0.67	2.00	-	-	-	0.33	-	-	-						
左京	0.29	-	0.50	4.25	2.75	4.00	0.50	0.50	0.25	-	-	-	-						
中京	1.60	0.67	-	1.00	4.00	0.33	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.67	0.50	-	-	5.00	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-						
山科	3.00	0.20	-	2.60	0.40	0.60	0.40	0.20	0.80	-	-	-	-						
下京	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1.40	-	-	-	3.00	0.67	-	1.67	-	0.33	-	-	-						
右京	1.13	1.80	1.60	3.20	4.20	0.40	1.20	1.00	0.40	-	-	-	1.00						
伏見	0.36	0.29	0.29	1.29	6.71	1.29	-	0.29	0.14	-	-	-	-						
西京	0.25	-	0.20	1.60	2.20	-	0.40	0.20	-	-	0.20	-	-						
京都市計	0.97	0.37	0.42	1.58	2.91	0.93	0.30	0.40	0.21	0.14	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第47週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年11月18日～2019年11月24日

データ入手日:2019年11月27日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	67	-	-	2	2	4	4	2	2	4	5	2	10	5	3	4	10	4	1	3	-	
RSウイルス感染症	年齢3	16	7	2	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		18	-	1	7	3	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		68	1	1	1	4	10	6	9	7	8	10	5	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		125	2	7	24	13	11	15	10	4	7	6	4	14	4	4	-	-	-	-	-	-	-
水痘		40	-	1	2	1	2	6	4	9	8	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		13	-	-	5	1	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		17	-	-	-	1	5	5	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	4	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		6	-	-	2	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.97	-	-	0.03	0.03	0.06	0.06	0.03	0.03	0.06	0.07	0.03	0.14	0.07	0.04	0.06	0.14	0.06	0.01	0.04	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.37	0.16	0.05	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.42	-	0.02	0.16	0.07	0.09	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.58	0.02	0.02	0.02	0.09	0.23	0.14	0.21	0.16	0.19	0.23	0.12	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.91	0.05	0.16	0.56	0.30	0.26	0.35	0.23	0.09	0.16	0.14	0.09	0.33	0.09	0.09	-	-	-	-	-	-
水痘		0.93	-	0.02	0.05	0.02	0.05	0.14	0.09	0.21	0.19	0.09	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.30	-	-	0.12	0.02	0.02	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.40	-	-	-	0.02	0.12	0.12	0.07	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.09	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.14	-	-	0.05	0.02	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第47週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年11月27日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	23	28	39	32	38	67
RSウイルス感染症	39	41	30	18	21	16
咽頭結膜熱	9	10	5	22	25	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	39	51	44	72	68
感染性胃腸炎	100	98	123	101	115	125
水痘	11	20	10	17	17	40
手足口病	40	33	33	22	9	13
伝染性紅斑	20	27	26	22	25	17
突発性発しん	12	13	12	14	13	9
ヘルパンギーナ	5	11	10	2	5	6
流行性耳下腺炎	1	4	1	-	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	6	-	-	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	305	324	346	294	340	381

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.33	0.41	0.57	0.46	0.55	0.97
RSウイルス感染症	0.91	0.95	0.70	0.42	0.49	0.37
咽頭結膜熱	0.21	0.23	0.12	0.51	0.58	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	0.91	1.19	1.02	1.67	1.58
感染性胃腸炎	2.33	2.28	2.86	2.35	2.67	2.91
水痘	0.26	0.47	0.23	0.40	0.40	0.93
手足口病	0.93	0.77	0.77	0.51	0.21	0.30
伝染性紅斑	0.47	0.63	0.60	0.51	0.58	0.40
突発性発しん	0.28	0.30	0.28	0.33	0.30	0.21
ヘルパンギーナ	0.12	0.26	0.23	0.05	0.12	0.14
流行性耳下腺炎	0.02	0.09	0.02	-	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	0.60	-	-	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	6.97	7.29	8.17	6.56	7.57	8.35

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。